



Eシリーズ

Eシリーズ 3040 40Uキャビネット設置 ガイド

2019年8月 | 215-13048_2019-08_ja-jp
ng-gpso-jp-documents@netapp.com

目次

概要と仕様	4
キャビネットの機能	4
電力要件と冷却	6
最大トレイ数	7
キャビネットの設置	8
必要な工具と機器の準備	8
キャビネットを移動するための準備	10
キャビネットの重量算出	10
室内温度への適応	12
梱包材の除去	12
梱包内容の確認	12
キャビネットからの重量のあるコンポーネントの取り外し	12
最終設置先へのキャビネットの移動	13
キャビネット設置の完了	14
水平調節脚と安定脚の調整	15
トレイの再取り付け	16
ケーブル スプールとタイ ラップの取り付け	17
追加のトレイの取り付け	18
追加のマウント レールの取り付け	19
キャビネットと電源の接続	21
著作権に関する情報	23
商標に関する情報	24
マニュアルの更新について	25

概要と仕様

ここでは、次に示すEシリーズ / EFシリーズ コントローラ ドライブトレイと拡張ドライブトレイの電力要件と最大重量について説明します。

- E2612 / E2624 / E2660コントローラ ドライブトレイ
- E2712 / E2724 / E2760コントローラ ドライブトレイ
- E5412 / E5424 / E5460コントローラ ドライブトレイ
- E5512 / E5524 / E5560コントローラ ドライブトレイ
- E5612 / E5624 / E5660コントローラ ドライブトレイ
- EF540 / EF550 / EF560フラッシュ アレイ
- DE1600 / DE5600 / DE6600ドライブトレイ

次のコントローラ シェルフとドライブ シェルフもキャビネットに設置可能ですが、ここではその仕様は記載しません。

- E2812 / E2824 / E5724コントローラ シェルフ
- DE212C / DE224Cドライブ シェルフ

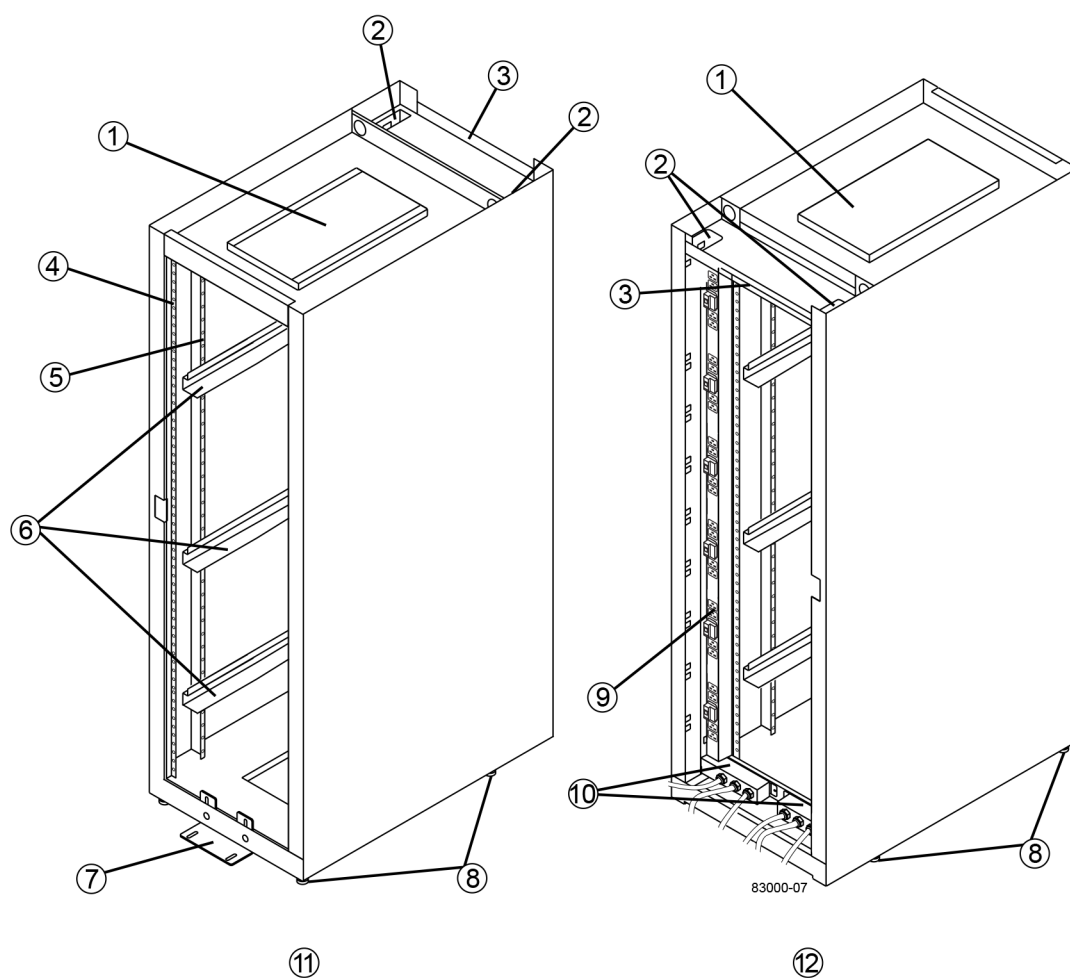
上記のSAS-3コントローラ シェルフとドライブ シェルフの仕様については、[NetApp Hardware Universe](#)を参照してください。

キャビネットの機能

モデル3040 40Uキャビネットは、以下の標準機能を備えています。

- 背面ドア - ラッチ機構付きでロック可能
- 標準のElectronic Industry Association (EIA) 規格の支持レール - 標準的な48.3cm (19インチ) 幅のキャビネットにデバイスを設置するための取り付け穴付き
- ローラー キャスター (×4) と水平調節脚 (×4) - キャビネット底部にあり、キャビネットを最終的な設置場所まで移動して水平な状態に固定
- 安定脚 - 最終設置場所に設置したキャビネットを固定
- インターフェイス ケーブルのアクセス用開口部
- AC配電ユニット (PDU) × 2 - 電源接続と電気処理容量を集約

以下は、キャビネットの前面図 (左) と背面図 (右) です。



1.	換気口カバー
2.	インターフェイス ケーブル アクセス用開口部
3.	背面プレート
4.	EIA支持レール
5.	支持レール
6.	キャビネット マウント レール
7.	安定脚
8.	水平調節脚
9.	配電ユニット (2つのうちの1つ)
10.	AC電源入力ボックス
11.	キャビネット前面
12.	キャビネット背面

警告：負傷のリスク - キャビネットの下半分を空けた状態で、キャビネットの上半分にコンポーネントを取り付けしないでください。キャビネットの下半分に対して上半分が重す

ぎると、キャビネットが倒れて負傷するおそれがあります。コンポーネントは、必ずキャビネットの最も低い位置から順に取り付けてください。

警告：負傷のリスク - コンポーネントを取り付けたキャビネットは、必ずフォークリフトまたは十分な人員で移動してください。キャビネットの転倒を防ぐために、キャビネットは必ず前面から押してください。フル装備のキャビネットの重量は909kg（2,000ポンド）を超えることがあります。キャビネットを動かすのは平らな場所でも大変な作業です。キャビネットを傾斜面で移動する必要がある場合は、キャビネットの上半分からコンポーネントを取り外し、十分な人員を確保してください。

注：E2860コントローラ シェルフ、E5760コントローラ シェルフ、DE460Cドライブ シェルフは、3040 40Uキャビネットに設置できません。

注：3040キャビネットにDE6600トレイをフル装備した場合の重量は、1250.1kg（2,756ポンド）を超えます。

電力要件と冷却

ここでは、キャビネットの電力と冷却の仕様について説明します。

電力定格

3040 40Uキャビネットの定格は200VAC～240VAC、50Hz～60Hzで、この±10%で動作します。

配電ユニット（PDU）

キャビネットには同一の配電ユニット（PDU）が2個搭載されており、それぞれのPDUが最大72Aの電力を供給します。PDUはキャビネットの背面に垂直に取り付けられており、それぞれの12Aの電源バンクが6個装備されています。各電源バンクには、IEC 60320-C19電源コンセントが4個と、15Aの回路ブレーカーが内蔵されています。つまり、各PDUは合計24個のコンセントと6個の回路ブレーカーを備えています。

各PDUに3個の電源入力ボックスがあり、キャビネットの下部に配置されています。各電源入力ボックスは、次のように8個の電源コンセントに電力を供給します。

- 電源入力ボックス1は、電源コードC1から下部の8個のコンセントに電力を供給します。
- 電源入力ボックス2は、電源コードC2から中央の8個のコンセントに電力を供給します。
- 電源入力ボックス3は、電源コードC3から上部の8個のコンセントに電力を供給します。

電源入力ボックスにはC1、C2、C3のラベルが付いており、ここから電源コードがモジュールに接続されます。

キャビネットの電力計算と熱量計算

コンポーネント	kVA	ワット	BTU/時
キャビネットのPDU（72A PDU）	14.4	14400	49176
キャビネットのPDU / 12Aバンク（72A PDU）	2.40*	2400*	8196*
E2612コントローラ ドライブ トレイ	0.437	433	1476
E2624コントローラ ドライブ トレイ	0.487	482	1644
E2660コントローラ ドライブ トレイ	1.128	1117	3810
E2712コントローラ ドライブ トレイ	0.516	511	1744

コンポーネント	kVA	ワット	BTU/時
E2724コントローラ ドライブ トレイ	0.561	555	1894
E2760コントローラ ドライブ トレイ	1.205	1193	4072
E5412コントローラ ドライブ トレイ	0.558	552	1883
E5424コントローラ ドライブ トレイと EF540フラッシュ アレイ	0.607	601	2051
E5460コントローラ ドライブ トレイ	1.254	1242	4237
E5512コントローラ ドライブ トレイ	0.587	581	1982
E5524コントローラ ドライブ トレイと EF550フラッシュ アレイ	0.637	630	2150
E5560コントローラ ドライブ トレイ	1.285	1272	4342
E5612コントローラ ドライブ トレイ	0.625	619	2111
E5624コントローラ ドライブ トレイと EF560フラッシュ アレイ	0.675	668	2279
E5660コントローラ ドライブ トレイ	1.325	1312	4477
DE1600ドライブ トレイ	0.325	322	1099
DE5600ドライブ トレイ	0.375	371	1267
DE6600ドライブ トレイ	0.1.011	1001	3415
* 最大定格は200VACです。BTUは、PDUが提供できる最大の電流定格に基づいて計算されています。			

最大トレイ数

3040 40Uキャビネットに取り付けることのできるトレイの最大数は、ラックユニット (U) で表した各トレイの高さによって異なります。

ラックユニット (U) で表したトレイの高さ

1ラックユニットは4.45cm (1.75インチ) です。たとえば、4Uトレイは最大10個、2Uトレイは最大20個、2Uトレイと4Uトレイは組み合わせて最大40U取り付けることができます。

トレイ	ラックユニット (U)
E2x12またはE2x24コントローラ ドライブ トレイ	2U
E2x60コントローラ ドライブ トレイ	4U
E5x12またはE5x24コントローラ ドライブ トレイ	2U
E5x60コントローラ ドライブ トレイ	4U
EF5x0フラッシュ アレイ	2U
DE1600ドライブ トレイ	2U
DE5600ドライブ トレイ	2U
DE6600ドライブ トレイ	4U

キャビネットの設置

キャビネットは大型で重量のある機器です。設置にあたっては、細部まで注意して計画を立てる必要があります。

手順

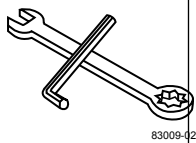
1. **必要な工具と機器の準備** (8ページ)
3040 40Uキャビネットを設置する前に、必要な工具と機器が揃っていることを確認します。
2. **キャビネットを移動するための準備** (10ページ)
キャビネットを納入場所から移動するための準備として、キャビネットの総重量を概算し、キャビネットを室内温度に適応させ、梱包材を取り除き、梱包内容を確認します。
3. **最終設置先へのキャビネットの移動** (13ページ)
3040 40Uキャビネットには、最終的な設置先に移動するための頑丈なキャスターが付いています。
4. **キャビネット設置の完了** (14ページ)
キャビネットの移動が完了したら、水平調節脚と安定脚を下げ、取り外したコンポーネントを再度取り付け、その他の必要なコンポーネントを取り付けて、キャビネットを電源に接続します。

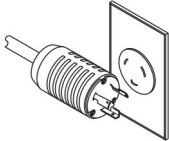

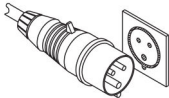
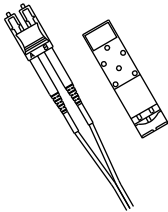
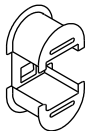

必要な工具と機器の準備

3040 40Uキャビネットを設置する前に、必要な工具と機器が揃っていることを確認します。

手順

1. 次の表に示す工具または機器を用意します。

	工具または機器	キャビネットに付属
	3/4-in. レンチ (輸送木箱に同梱) - キャビネット底部の水平調節脚を上下するために使用します。 1/4-in. アレン レンチ - キャビネット前部の安定脚を上下するために使用します。	✓

	工具または機器	キャビネット に付属
NEMA L6-30 	AC電源コード - キャビネットを外部電源（壁面プラグ）に接続するために使用します。 <ul style="list-style-type: none"> NEMA L6-30コネクタは、米国とカナダで使用されます。 IEC-60309コネクタは、米国とカナダ以外の国で使用されます。 注： 各PDUを独立した電源に接続する必要があります。	
IEC-60309 		
	SASケーブル （オプション） - 各ドライブトレイに2本のケーブルが付属していますが、ホスト側のケーブルは別途購入する必要があります。 通信ケーブル （オプション） - トレイをホストに接続するために使用します。 その他の必要な工具や機器については、該当するコントローラドライブトレイの設置ガイドを参照してください。	
	マウント可能なケーブルスプール - 両側に縦に並んだ電源コンセントに沿って取り付けて、ケーブルをまとめたり配線したりするために使用します。各コントローラドライブトレイには2個のケーブルスプールが付属しています。ケーブルスプールは、スタンドアロンのドライブトレイにも付属しています。	
	はさみ - 輸送木箱の金属バンドを切断するために使用します。	
	フォークリフト （オプション） - 輸送パレットからキャビネットを取り出すために使用します。	
	前面パネルキット （オプション） - キャビネット前面の空いているベイをカバーするために使用します。	
	静電気防止用バッグ （オプション） - キャビネットを設置する間、取り外したコンポーネントを保護するために使用します。	

次のタスク

キャビネットを移動するための準備（10ページ）に進みます。

キャビネットを移動するための準備

キャビネットを納入場所から移動するための準備として、キャビネットの総重量を概算し、キャビネットを室内温度に適応させ、梱包材を取り除き、梱包内容を確認します。

手順

1. **キャビネットの重量算出** (10ページ)
キャビネットは総重量が909.1kg (2,000ポンド) 以内であれば確実に安全に運搬できます。キャビネットを安全に移動できるように、おおよその重量を把握する必要があります。
2. **室内温度への適応** (12ページ)
梱包材を取り除く前に、キャビネットとトレイを室内環境に適応させます。
3. **梱包材の除去** (12ページ)
キャビネットが室温に適応したら、梱包材を取り除きます。
4. **梱包内容の確認** (12ページ)
梱包内容を調べて、すべての機器が届いたことを確認します。
5. **キャビネットからの重量のあるコンポーネントの取り外し** (12ページ)
安定性を確保するために、キャビネットの上部から重量のあるコンポーネントをいくつか取り外します。

キャビネットの重量算出

キャビネットは総重量が909.1kg (2,000ポンド) 以内であれば確実に安全に運搬できます。キャビネットを安全に移動できるように、おおよその重量を把握する必要があります。

手順

1. 次の表を使用してキャビネットの総重量を見積もります。
キャビネットの総重量は、キャビネットに取り付けるトレイの数と種類によって決まります。

コンポーネント	重量	注
キャビネット	138.8kg (306.0ポンド)	背面ドアが取り付けられた空の状態
配電ユニット (PDU) (ペア)	19.96kg (44.0ポンド)	
マウントレール (ペア)	1.59kg (3.50ポンド)	
E2612コントローラ ドライブトレイ	27kg (59.52ポンド)	最大構成
E2624コントローラ ドライブトレイ	26.12kg (57.32ポンド)	最大構成
E2660コントローラ ドライブトレイ	105.2kg (232ポンド)	最大構成
E2712コントローラ ドライブトレイ	27.12kg (59.8ポンド)	最大構成
E2724コントローラ ドライブトレイ	26kg (57.32ポンド)	最大構成

コンポーネント	重量	注
E2760コントローラ ドライブ トレイ	105.2kg (232ポンド)	最大構成
E5412コントローラ ドライブ トレイ	27.92kg (61.52ポンド)	最大構成
E5424コントローラ ドライブ トレイ	26.92kg (59.32ポンド)	最大構成
E5460コントローラ ドライブ トレイ	105.2kg (232ポンド)	最大構成
E5512コントローラ ドライブ トレイ	28.89kg (63.7ポンド)	最大構成
E5524コントローラ ドライブ トレイ	27.9kg (61.52ポンド)	最大構成
E5560コントローラ ドライブ トレイ	107.13kg (236.2ポ ンド)	最大構成
E5612コントローラ ドライブ トレイ	28.89kg (63.7ポンド)	最大構成
E5624コントローラ ドライブ トレイ	27.9kg (61.52ポンド)	最大構成
E5660コントローラ ドライブ トレイ	107.13kg (236.2ポ ンド)	最大構成
EF540フラッシュ アレイ	23.64kg (52.12ポンド)	最大構成
EF550フラッシュ アレイ	24.63kg (54.32ポンド)	最大構成
EF560フラッシュ アレイ	24.63kg (54.32ポンド)	最大構成
DE1600ドライブ トレイ	26.3kg (58ポンド)	最大構成
DE5600ドライブ トレイ	25.31kg (55.8ポンド)	最大構成
DE6600ドライブ トレイ	104.1kg (229.6ポンド)	最大構成

2. 次の注意事項を確認します。

注意：キャビネットを最終的な設置場所に移動する前に、DE6600ドライブ トレイからすべてのドライブを取り外してください。

注意：機器が破損する可能性 - DE6600ドライブ トレイを搭載したキャビネットは、出荷重量を軽くするためにドライブを取り外した状態で出荷されます。DE6600ドライブ トレイを搭載したキャビネットは、フル装備の重量が1247.3kg (2750ポンド)を超える可能性があるため、必ずキャビネットを所定の場所に移動してからドライブを装着してください。また、キャビネットの設置場所の床耐荷重がこの重量に対応していることを確認します。

注意：トレイ コンポーネントが破損する可能性 - DE6600ドライブ トレイは平らな場所に置かないでください。DE6600ドライブ トレイは、ドロワーを作動させたり動かしたりする前にキャビネットに取り付けてください。

3. [キャビネットの適応化](#) (12ページ) に進みます。

室内温度への適応

梱包材を取り除く前に、キャビネットとトレイを室内環境に適応させます。

手順

1. 屋外の温度が0°C (32°F) を下回っている場合は、結露を防ぐために、キャビネットとトレイを輸送木箱に入れたまま少なくとも24時間室内に放置します。
2. 到着時の屋外の温度に応じて、24時間の待機時間を延長または短縮します。

注意：トレイ コンポーネントが破損する可能性 - キャビネットとトレイが納入されたときの屋外の温度が0°C (32°F) を下回っていた場合は、すぐに開梱しないでください。冷たくなったコンポーネントを暖かい室温にさらすと、結露が生じてコンポーネントが破損したり故障したりする可能性があります。

3. [梱包材の除去](#) (12ページ) に進みます。

梱包材の除去

キャビネットが室温に適応したら、梱包材を取り除きます。

手順

1. 箱の前面に記載されている開梱手順を参照してください。
2. 同梱されている手順書に従って梱包材を取り除きます。
3. [梱包内容の確認](#) (12ページ) に進みます。

梱包内容の確認

梱包内容を調べて、すべての機器が届いたことを確認します。

手順

1. 納入された機器を梱包明細書と比較します。
2. すべての機器が届いたことを確認します。
3. 足りない機器がある場合は、営業担当者までお問い合わせください。
4. [キャビネットからの重量のあるコンポーネントの取り外し](#) (12ページ) に進みます。

キャビネットからの重量のあるコンポーネントの取り外し

安定性を確保するために、キャビネットの上部から重量のあるコンポーネントをいくつか取り外します。

開始する前に

- キャビネットを移動する前に、重量が909kg (2,000ポンド) を超えていないことを確認します。
- トレイ、コンポーネント、ケーブルを取り外すときは、同じ場所に再度取り付けられるように、事前に場所を書き留めてください。

手順

1. ケーブルを外す必要がある場合は、あとで再び取り付けられるように、ケーブル構成を記録しておいてください。
2. キャビネットの上半分にあるドライブトレイとコントローラドライブトレイを取り外します。同じトレイのコンポーネントはまとめて保管しておきます。
注: 各トレイの背面にある電源装置やその他のコンポーネントを取り外す必要はありません。
3. 各コンポーネントを別々の静電気防止用バッグに入れます。元の梱包箱がある場合は、コンポーネントをその箱に入れて運んでください。

次のタスク

[最終設置先へのキャビネットの移動](#) (13ページ) に進みます。

最終設置先へのキャビネットの移動

3040 40Uキャビネットには、最終的な設置先に移動するための頑丈なキャスターが付いています。

開始する前に

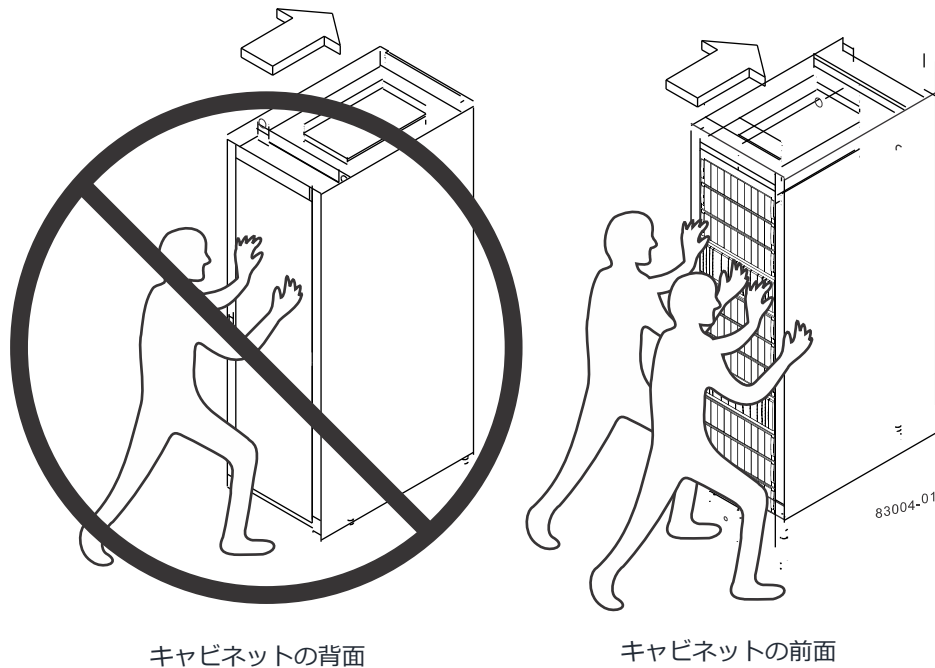
- フォークリフトを使わずにキャビネットをパレットから取り出す手順を確認します。輸送木箱には、備え付けの傾斜板と手順書が同梱されています。箱の前面に記載されている開梱手順を参照してください。
- 搬入口とキャビネットの最終設置先の間にあるスロープをすべてチェックします。キャビネットがスロープ上にあるとき、またはキャビネットを傾けたときに、キャビネットの重心がキャビネットの底面積からはみ出さないようにする必要があります。

タスク概要

注: 多くのキャビネットにはドライブトレイが搭載されています。このため、ほとんどの重量がキャビネットの前方に集中して重心が前面に近くなります。

手順

1. キャビネットを最終的な場所に安全に運ぶために、最上部のデバイスを取り外してください。角度が10度を超えるスロープがある場合は、この点が特に重要となります。
2. 次の図に示す正しい方法でキャビネットを最終設置先に移動します。必ずキャビネットの背面ではなく前面を押してください。



次のタスク

キャビネット設置の完了（14ページ）に進みます。

関連タスク

キャビネットの重量算出（10ページ）

キャビネットは総重量が909.1kg（2,000ポンド）以内であれば確実かつ安全に運搬できます。キャビネットを安全に移動できるように、おおよその重量を把握する必要があります。

キャビネット設置の完了

キャビネットの移動が完了したら、水平調節脚と安定脚を下げ、取り外したコンポーネントを再度取り付け、その他の必要なコンポーネントを取り付けて、キャビネットを電源に接続します。

手順

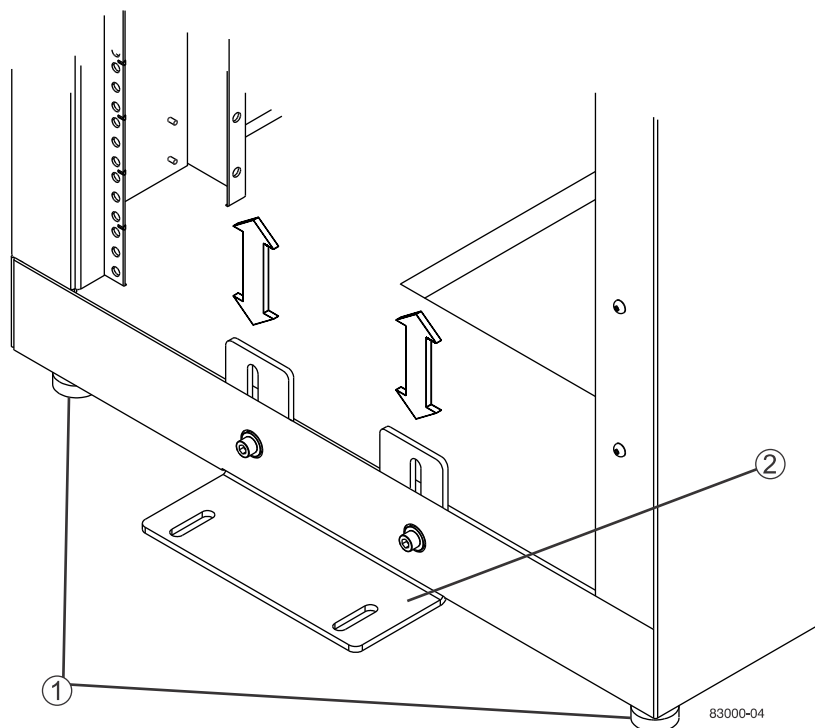
1. **水平調節脚と安定脚の調整** (15ページ)
キャビネットの脚を調整してキャビネットを安定させます。水平調節脚は、キャスターを浮いた状態にしてキャビネットを支えます。安定脚は、最終的な設置先に配置したキャビネットの転倒を防止します。
2. **トレイの再取り付け** (16ページ)
キャビネットを移動したら、トレイを元の場所に再び取り付けることができます。
3. **ケーブルスプールとタイラップの取り付け** (17ページ)
トレイを再度取り付けたら、ケーブルスプールとタイラップを取り付けます。ケーブルスプールとタイラップは、ケーブルをまとめる場合や、コントローラとトレイのケーブル配線に使用します。
4. **追加のトレイの取り付け** (18ページ)
必要に応じて、追加のトレイを取り付けることができます。空いているトレイスペースはカバーして通気を確保する必要があります。
5. **追加のマウントレールの取り付け** (19ページ)
別送された（キャビネットに取り付けられていない）コントローラドライブトレイを取り付ける場合は、キャビネットに追加のマウントレールが必要になることがあります。
6. **キャビネットと電源の接続** (21ページ)
キャビネットの設置を完了するには、キャビネットのコンポーネントの電源をオンにします。

水平調節脚と安定脚の調整

キャビネットの脚を調整してキャビネットを安定させます。水平調節脚は、キャスターを浮いた状態にしてキャビネットを支えます。安定脚は、最終的な設置先に配置したキャビネットの転倒を防止します。

手順

1. キャスターを浮いた状態にしてキャビネットを支えるために、水平調節脚を下げて調整します。
水平調節脚はキャビネットの底部四隅にあります。
2. キャビネットは可能なかぎり水平にしてください。
以下は安定脚と水平調節脚の拡大図です。



1.	水平調節脚
2.	安定脚

3. [トレイの再取り付け](#) (16ページ) に進みます。

トレイの再取り付け

キャビネットを移動したら、トレイを元の場所に再び取り付けることができます。

タスク概要

トレイは必ず元の場所に取り付けてください。

注意： 次のトレイはキャビネットの上部（身長よりも上）に取り付けしないでください。フル装備したときの各トレイの重量は100kg（220ポンド）を超えます。キャビネットの上部に取り付けると、トレイの重量が上部に集中し、バランスが崩れやすくなります。

- DE6600ドライブトレイ

- E2660コントローラ ドライブトレイ
- E2760コントローラ ドライブトレイ
- E5460コントローラ ドライブトレイ
- E5560コントローラ ドライブトレイ
- E5660コントローラ ドライブトレイ

手順

1. すべてのトレイをキャビネットの元の場所に再び取り付けます。

警告：負傷のリスク - 空のトレイの重量は約56.7kg（125ポンド）です。空のトレイを安全に移動するには、3名で運搬する必要があります。トレイにコンポーネントが装備されている場合は、電動リフトで運搬する必要があります。

2. すべてのコンポーネントをトレイの元の場所に再び取り付けます。

アドレスの競合やデータアクセスの中断を防ぐために、すべてのコンポーネントを同じトレイの同じ場所に戻してください。

3. すべてのケーブルをトレイの元の場所に再び取り付けます。

4. インターフェイス ケーブルをキャビネットに配線します。

5. キャビネットの主電源コードを、2つの外部電源に配線します。この時点ではまだ電源コードをプラグに接続しないでください。

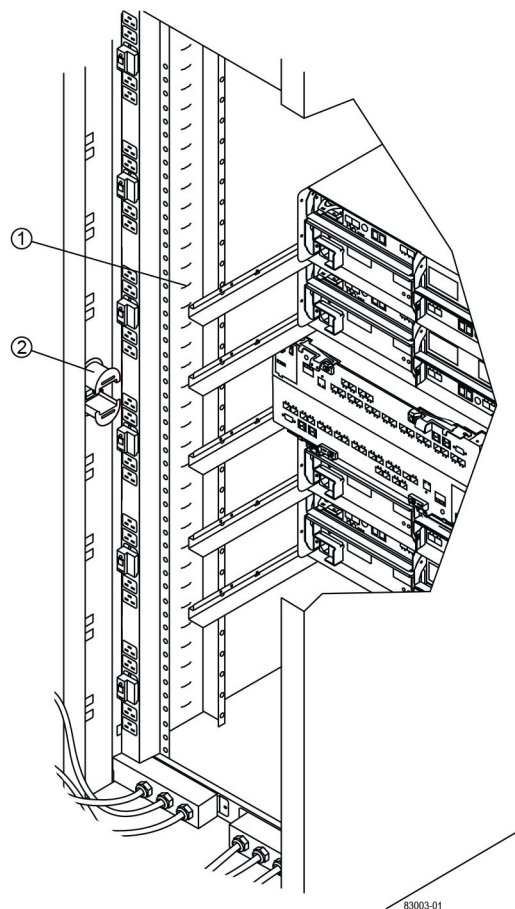
6. [ケーブル スプールとタイ ラップの取り付け](#)（17ページ）に進みます。

ケーブル スプールとタイ ラップの取り付け

トレイを再度取り付けたら、ケーブル スプールとタイ ラップを取り付けます。ケーブル スプールとタイ ラップは、ケーブルをまとめる場合や、コントローラとトレイのケーブル配線に使用します。

手順

1. ケーブル スプールとタイ ラップは、両側に縦に並んだ電源コンセントに沿って取り付けます。



1.	タイラップの場所
2.	ケーブルスプール

2. [追加のトレイの取り付け](#) (18ページ) に進みます。

関連タスク

[必要な工具と機器の準備](#) (8ページ)

3040 40Uキャビネットを設置する前に、必要な工具と機器が揃っていることを確認します。

追加のトレイの取り付け

必要に応じて、追加のトレイを取り付けることができます。空いているトレイスペースはカバーして通気を確保する必要があります。

手順

1. トレイを追加する必要がある場合は、マウントレールを取り付けます。
2. キャビネットに空きがある場合は、トレイの上または下の空いているスペースを前面パネルキットで覆います。

キャビネット内の通気を維持するためには、空いているスペースをカバーする必要があります。

3. トレイの電源をオンにします。

4. [追加のマウント レールの取り付け](#) (19ページ) に進みます。

関連資料

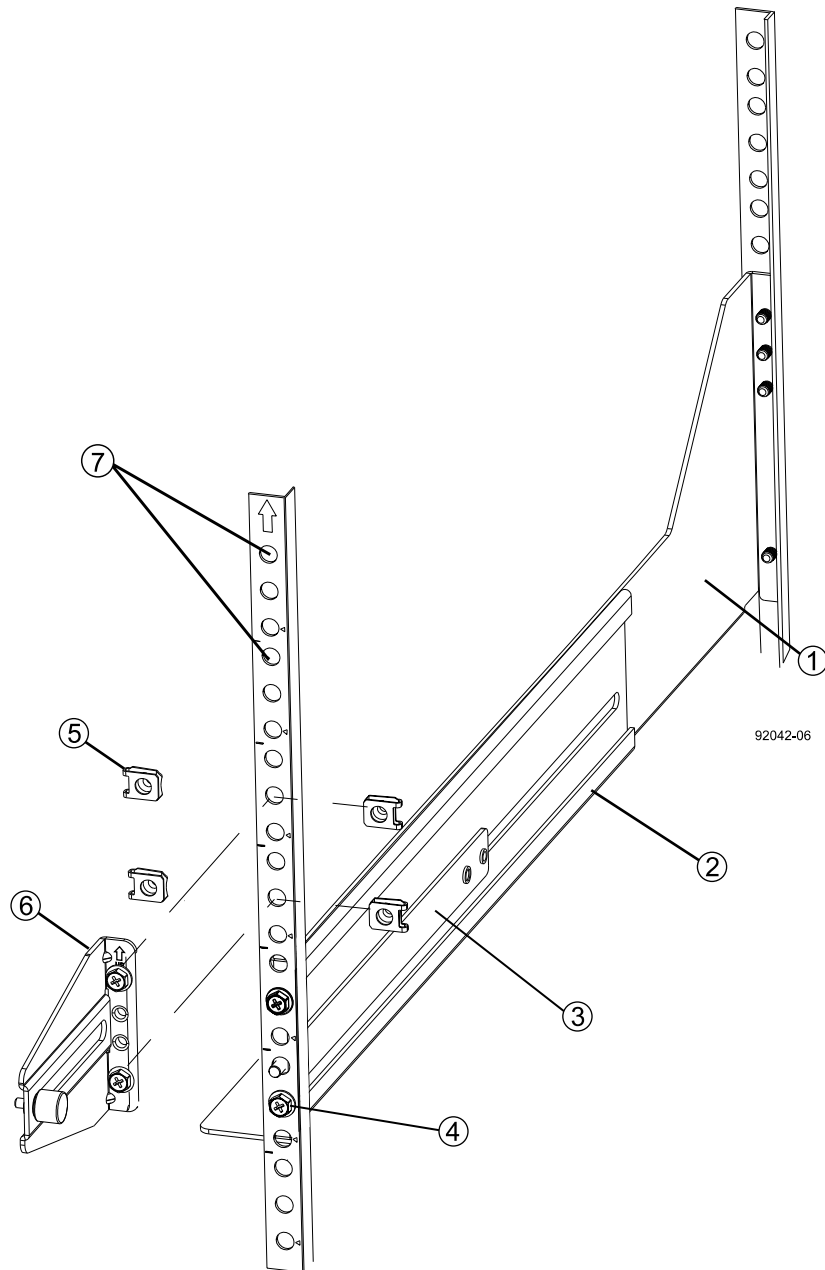
[最大トレイ数](#) (7ページ)

追加のマウント レールの取り付け

別送された (キャビネットに取り付けられていない) コントローラ ドライブ トレイを取り付ける場合は、キャビネットに追加のマウント レールが必要になることがあります。

手順

1. マウント レールの場所を決定します。
 - **既存のトレイの上** - キャビネットの上部トレイのすぐ上にマウント レールを配置します。
 - **既存のトレイの下** - 取り付けるトレイが収まる空間を確保してマウント レールを配置します。
 - 2Uコントローラ ドライブ トレイまたはドライブ トレイの場合は8.9cm (3.5インチ)
 - 4Uコントローラ ドライブ トレイまたはドライブ トレイの場合は17.8 cm (7インチ)
2. 右前部と左前部の支柱にある計測マーカースを利用して、マウント レールをキャビネット両側の同じ位置に取り付けます。



1.	前部アジャスタブル レール
2.	後部アジャスタブル レール
3.	調整板とネジ
4.	レール用M5×10mmマウント ネジ
5.	クリップ ナット
6.	後部押さえブラケット
7.	支柱

注：3040キャビネットにレールを取り付けるときは、クリップ ナットと後部押さえブラケットを使用しません。

3. 後部アジャスタブル レールを支柱に配置します。
4. 後部アジャスタブル レールの穴を支柱の穴の前面に合わせます。
5. M5×10mmネジを2本取り付けます。
 - a. 支柱から後部アジャスタブル レールにネジを通します。
 - b. ネジを締めます。
6. 前部アジャスタブル レールを垂支柱に配置します。
7. 前部アジャスタブル レールの穴を支柱の穴の前面に合わせます。
8. M5×10mmネジを2本取り付けます。
 - a. 支柱から前部アジャスタブル レールの一番下の穴にネジを通します。
 - b. 支柱から前部アジャスタブル レールの上部3つのうち中央の穴にネジを通します。
 - c. ネジを締めます。

注：残りの2つのネジ穴は、トレイを取り付ける際に使用します。
9. 手順3から8を繰り返して、キャビネットの反対側に2本目のレールを取り付けます。
10. 該当するトレイ設置手順書に従って、各トレイを取り付けます。
11. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - トレイのスペースがすべて埋まっている場合は、トレイの電源を入れます。
 - 空きがある場合は、トレイの上または下の空いているスペースを前面パネルキットで覆います。
12. [キャビネットと電源の接続](#)（21ページ）に進みます。

キャビネットと電源の接続

キャビネットの設置を完了するには、キャビネットのコンポーネントの電源をオンにします。

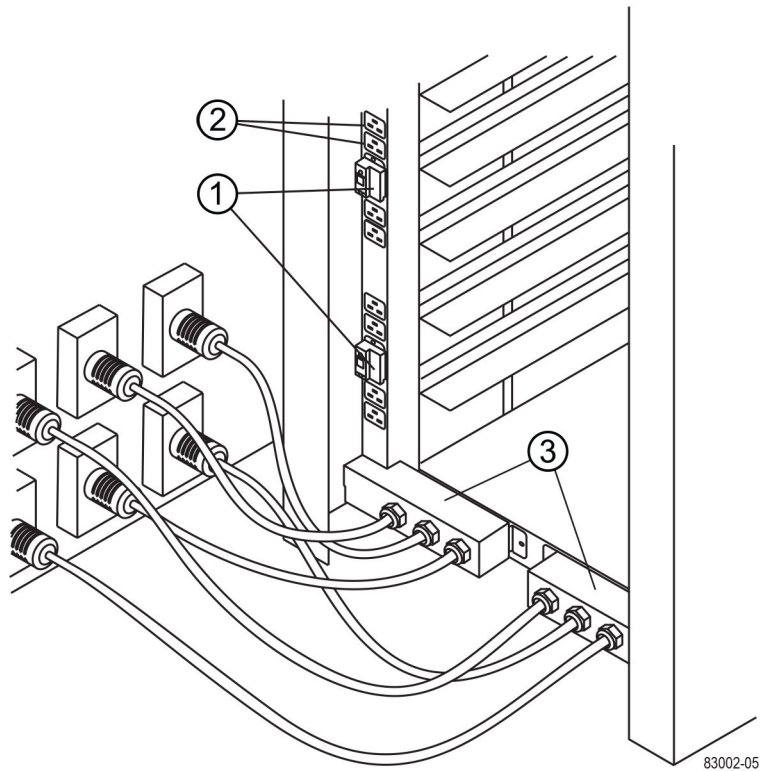
タスク概要

トレイの電源がオンになるまでの間、トレイの前面と背面のLEDが点滅します。構成によっては、電源がオンになるまでに数分かかることがあります。

手順

1. キャビネットのすべてのコンポーネントの電源をオフにします。
2. 12個の回路ブレーカーすべてをオフ（下の位置）にします。
3. NEMA L6-30コネクタ（米国とカナダ）またはIEC 60309コネクタ（米国とカナダ以外）6個を、それぞれ空いている電源コンセントに差し込みます。

注：各PDUをキャビネット外部の独立した電源に接続する必要があります。
4. 12個の回路ブレーカーをすべてオン（上の位置）にします。



1.	回路ブレーカー
2.	電源コンセント
3.	電源入力ボックス

5. キャビネットのすべてのドライブトレイの電源をオンにします。
- 重要：**ドライブトレイの電源をオンにしたら、30秒待ってからコントローラドライブトレイの電源をオンにしてください。
6. ドライブトレイの電源をオンにしたあと30秒待ち、キャビネットのすべてのコントローラドライブトレイの電源をオンにします。

次のタスク

キャビネットの設置が完了しました。通常の運用を再開することができます。

関連タスク

[必要な工具と機器の準備](#) (8ページ)

3040 40Uキャビネットを設置する前に、必要な工具と機器が揃っていることを確認します。

関連資料

[電力要件と冷却](#) (6ページ)

著作権に関する情報

Copyright © 2019 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S.A.

このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

ここに記載されている「データ」は商用品目（FAR 2.101で定義）に該当し、その所有権はネットアップに帰属します。米国政府は、データが提供される際の米国政府との契約に関連し、かつ当該契約が適用される範囲においてのみ「データ」を使用するための、非独占的、譲渡不可、サブライセンス不可、世界共通の限定的な取り消し不可のライセンスを保有します。ここに記載されている場合を除き、書面によるネットアップの事前の許可なく、「データ」を使用、開示、複製、変更、実行、または表示することは禁止されています。米国国防総省のライセンス権限は、DFARS 252.227-7015 (b) 項に規定されている権限に制限されます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、ネットアップの商標一覧のページに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

<http://www.netapp.com/jp/legal/netapptmlist.aspx>

マニュアルの更新について

弊社では、マニュアルの品質を向上していくため、皆様からのフィードバックをお寄せいただく専用のEメール アドレスを用意しています。また、GA/FCS版の製品マニュアルの初回リリース時や既存マニュアルへの重要な変更があった場合にご案内させていただくTwitter アカウントもあります。

本マニュアルの改善についてご提案がある場合は、次のアドレスまでコメントをEメールでお送りください。

ng-gpso-jp-documents@netapp.com

その際、担当部署で適切に対応させていただくため、製品名、バージョン、オペレーティング システム、弊社営業担当者または代理店の情報を必ず入れてください。

GA/FCS版の製品マニュアルの初回リリース時や既存マニュアルへの重要な変更があった場合のご案内を希望される場合は、Twitterアカウント@NetAppDocをフォローしてください。